

2050年、脱炭素社会へ—経済界はこう動く

2021年6月1日(火)
フォーリン・プレスセンター プレス・ブリーフィング

櫻田 謙悟
公益社団法人 経済同友会 代表幹事

はじめに

- 「2050年カーボンニュートラル」への挑戦
- 現実的に解決策を編み出して実行するのが経営者——現実的環境主義

■「2050年カーボンニュートラル」宣言 (2020年10月)



Source: Official Website of the Prime Minister of Japan and His Cabinet

■世界経済フォーラム (ダボス会議) (2019年1月)

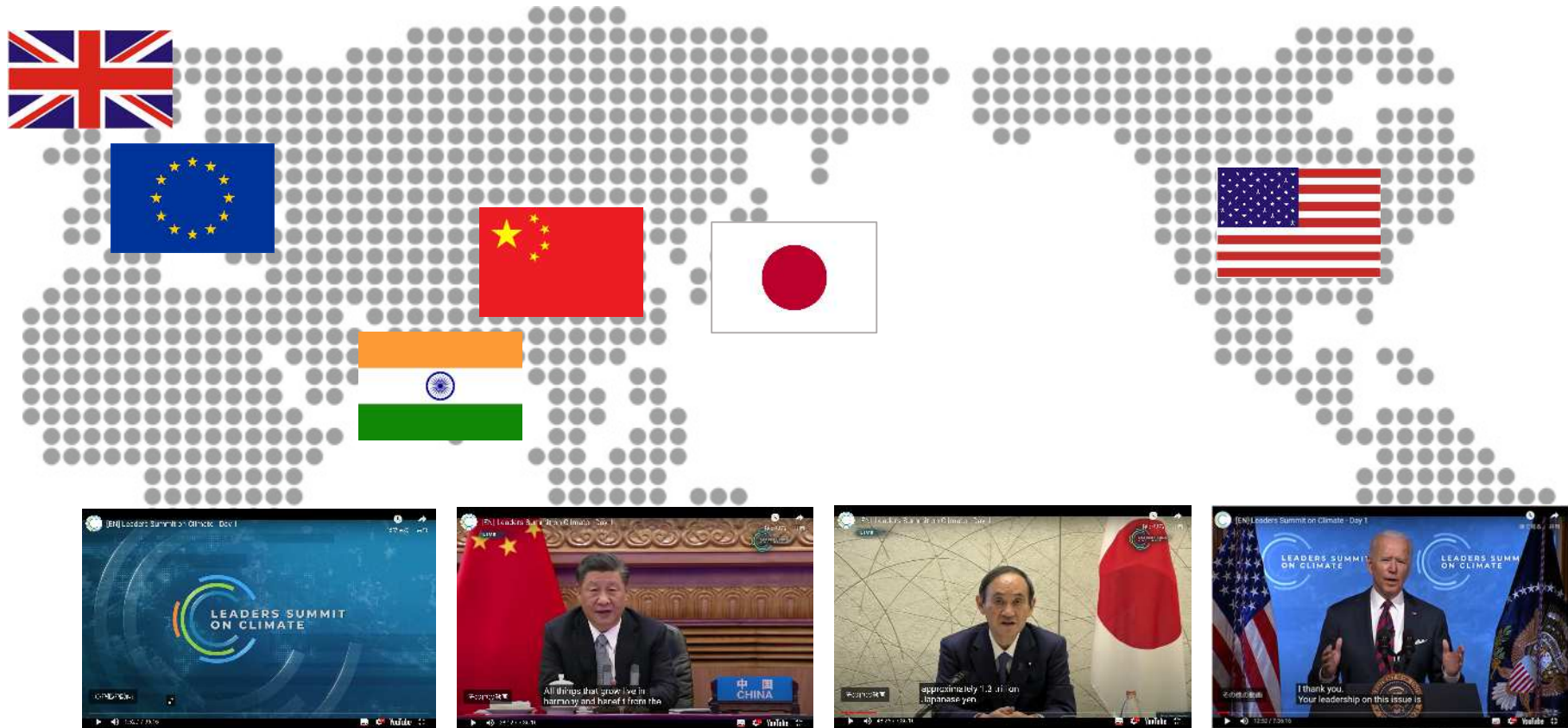


Photo by Jeff Elder

Source: “The 10 Best Moments From Davos With Salesforce”

1. 「脱炭素」を巡る覇権争い

- 「脱炭素」を巡る覇権争い・主導権争い
- 脱炭素社会の実現は、成長戦略、経済安全保障とも密接に関連

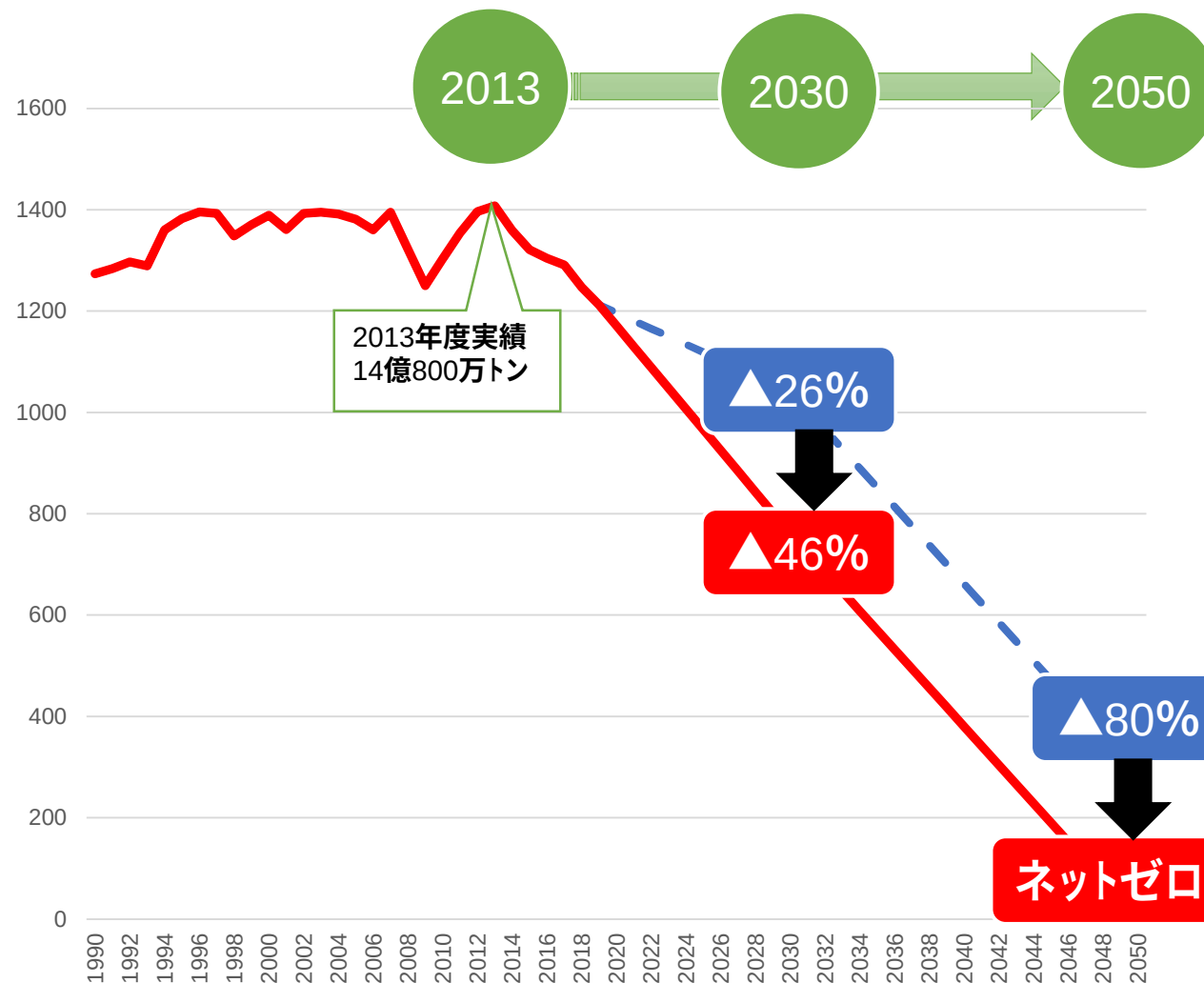


Leaders Summit on Climate (April 22-23, 2021)

Source: Website of the U.S. Department of State

2. 「2050年カーボンニュートラル」に向けて

日本の温室効果ガス排出量と削減目標 (CO₂換算／百万トン)



目標達成の鍵は・・・

技術

資金

生活者
理解

3. 技術：日本の重点分野を考える上での視点



✓ 世界の最先端となる可能性

水素・アンモニア、E-Fuel、モノづくりの脱炭素化、人工光合成 etc.

✓ 安全保障、経済安全保障の重要性

次世代原発、半導体・デジタル etc.

✓ 日本企業の成長に資する対外投資

海外での成長分野への投資、日本が競争力のない太陽光パネルや風力発電機 etc.

4. 資金①:財政状況が厳しい中での留意点



✓ 財源確保

炭素税 (経済同友会「炭素消費税」提言)

✓ 投資の重点化と効果最大化

グリーン・イノベーション基金 (2兆円)

✓ 民間投資の誘発

世界の3,000兆円のESG資金の呼び込み

4. 資金②：世界のESG資金、対内直接投資の現状

■世界のESG投資残高 (2018年) 30兆ドル

	Billion \$
欧州	14,075
米国	11,995
日本	2,180
カナダ	1,699
豪州／NZ	734
合計	30,683

Source: Global Sustainable Investment Alliance,
The Global Sustainable Investment Review 2018

■対内直接投資残高 (ストック) 対GDP比率 (%)

	%
英国	81.43
米国	51.92
フランス	31.99
ドイツ	31.26
中国	21.39
韓国	12.40
日本	4.34

Source: OECD, International Direct Investment
Statistics (2020)

5. 生活者の理解： 経済同友会「未来選択会議」の設立

✓ 未来選択会議

生活者
理解



- 参加者：社会の様々なステークホルダー
(17歳～73歳)
- テーマ：民主主義、環境・エネルギー、財政」等
- 対立軸を明確にした議論で、日本の将来に向けた論点や選択肢を提示



6. 経済同友会の提言：2030年エネルギーミックス

➤ ゼロエミッション電源の拡大（再エネ40%＋既存原発活用）

【政府目標（現行）】

再エネ
22～24%

原子力
20～22%

火力
56%



【同友会提言】

再エネ
40%

原子力
下限15%

火力
～45%

おわりに

□ 現実的環境主義に立つ、経営者の責任と行動

□ 「ステークホルダー資本主義」への注目

□ 「三方良し」を重視する日本企業：世界の課題解決に貢献

A green-tinted globe showing the continents of Asia and Australia. The globe is centered on the Indian Ocean, with Asia visible on the right and Australia on the left. The text "ご清聴ありがとうございました" is overlaid on a white horizontal band across the middle of the globe.

ご清聴ありがとうございました